

令和7年度第1回中津川市公共交通会議 議事要旨

日 時 令和7年6月19日（木）13:30～14:50
場 所 中津川市役所4階 大会議室
出席者 委員25名（うち代理出席10名）、事務局4名

■開会

■会長あいさつ（可知副市長）

■学識経験者あいさつ（倉内先生）

■報告

報告1 北恵那バス坂下線の延長について（北恵那交通株式会社）

・報告1について説明（北恵那交通株式会社）

【質疑・意見等】 なし

報告2 木曽地域公共交通中津川市民病院線の運行について（都市計画課）

・報告2について説明（都市計画課）

【質疑・意見等】

・既存の坂下線は市民病院までの直行便が無いと思うので、中津川市民の方でも同様のニーズがあれば、木曽地域だけで考えるのではなく、連携することは起こり得るのか。

⇒今回の報告はあくまで木曽地域の方が坂下診療所や市民病院へ行くための路線の説明である。坂下診療所から市民病院へ行く場合は、既存の路線バスで乗り換えが必要になる。

・県を跨ぐことは簡単ではないが、市外へ行く途中に他の市町村に停留所を設置し、利用してもらう形をとっているところもあるので、お互い便利になるのであれば検討してもいいと思う。

報告3 坂下地区コミュニティバス外洞線（上り）の起点変更について（都市計画課）

・報告3について説明（都市計画課）

【質疑・意見等】 なし

報告4 神坂・馬籠地区における自動運転バスに関する取り組みおよび付知地区デマンド運行の実証実験について（都市計画課）

・報告4について説明（事務局）

【質疑・意見等】

・付知地区以外では巡回バスも含めて有料で運行している地区もあれば、付知地区では市主導のもと無料で運行するということを考えると、地区間で格差が生じないか心配である。

⇒令和6年度に引き続き付知地区にて無料で実証実験を行うが、地域としては定時路線よりもデマンド運行でやってほしいというニーズが強くある。今回は無料で行うが、まちづく

り協議会を中心に運行計画も検討しており、今後は地域の交通手段として有料で運行する。

- ・付知地区だけでしか行えないのか。

⇒付知地区の実証実験の成果を生かし、他の地区へも横展開していきたい。

- ・実証実験の間は、コミュニティバスは運行しないという認識でよいか。

⇒3カ月間はコミュニティバスの運行は休止する。

- ・今までと同じ料金で運行してもいいと思うので、今後有料化の検討をしていただければと思う。

報告5 令和6年度事業報告（都市計画課）

- ・報告5について説明（事務局）

【質疑・意見等】

- ・免許返納者へのタクシー割引を各事業者で一定数負担しているが、経営を圧迫する事実もあり、今後割引を継続するにあたり、市としてこの負担をどのように考えているのか。

⇒国の補助制度を活用して免許返納支援の施策を行うことを検討している。国土交通省から高齢者の免許返納の促進に向けた地方公共団体による対策の効果実証調査事業というものの公募がある見込み。交通チケットを配布する等公共交通の利用促進に繋がるような施策を検討したいと考えているので、その際には交通事業者の皆様と調整させていただきたい。

報告6 2024（令和6年）年度評価指標に対する実績について（都市計画課）

- ・報告6について説明（事務局）

【質疑・意見等】

- ・指標2や4は非常に良く見えるが、観光客が増えたから数字的に良かったという結果で本当に良いのか、観光客の増加により、地元の方が乗れないというような支障が生じていないかが指標からは見えてこないところが気になる。
- ・可能であれば、観光客が利用するバス停と地元の方が利用するバス停で乗降者数の増減を確認し、観光客が増えていること、地元の利用者も一定数確保できていることが見えるような資料作成を検討できると良い。
- ・指標4について、北恵那交通の役割と自主運行バスやコミュニティバスの役割は異なるので、全ての収支で見るとよりかは、一つ一つのサービスに対して評価できると気づきが多くなると思うので、工夫していただけると良い。
- ・付知地区でもバス通学の方が減っているのは確かであり、補助金が出るとしても、家庭で2人以上通わせるとなるとバス定期代の負担が重く、自家用車で送迎をすることになるので、利用者の減少に関係してくると思う。市の通学バス定期代の補助金額がもう少し増えれば有難い。北恵那交通の株券を購入し、優待券で利用している方もいるが、市の補助金を活用した方が良いという話になれば、また増えてくると思う。

報告7 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価等について（都市計画課）

- ・報告7について説明（事務局）

【質疑・意見等】 なし

報告8 令和7年度事業計画（案）（都市計画課）

- ・ 報告 8 について説明（事務局）

【質疑・意見等】 なし

報告 9 中津川市地域公共交通計画の改定スケジュールの共有について（都市計画課）

- ・ 報告 9 について説明（事務局）

【質疑・意見等】 なし

■議題

議題 1 北恵那バス馬籠線（大久手経由）の廃止及び廃止代替について

- ・ 議題 1 について説明（事務局）

【質疑・意見等】

- ・ 大久手を利用する方は、今までは中津川駅へ直行できていたが、廃止後は落合事務所もしくは落合診療所での乗り換えが発生することについて、基本的には待ち時間なく乗り継ぎができるよう工夫されているということでしょうか。

⇒おっしゃる通り。

- ・ 落合事務所や落合診療所でのバス待ち環境はどうか。

⇒事務所であれば室内で待つことはできる。

- ・ バス待ち環境についても合わせて案内できるよう検討していただくと良い。

【採決】 承認

議題 2 地域公共交通計画（別紙）の認定申請について

- ・ 議題 2 について説明（事務局）

【質疑・意見等】 なし

【採決】 承認

議題 3 中津川市地域公共交通計画の一部改定について

- ・ 議題 3 について説明（事務局）

【質疑・意見等】 なし

【採決】 承認

■議事終了

■その他

- （１）第２回「大集合！はたらくのりもの広場」の開催について

- ・ 事務局から説明

- （２）国の補助制度を活用した免許返納支援について

- ・事務局から説明

（その他意見等）

- ・自分がバスを利用していたときから料金が消費税分くらいしか上がっていないことに驚いた。ダイヤ改正により、夜の便が1本減便となったが、高校生的には部活の関係上、減便が痛いという声もあるため、復活していただけると有難い。
- ⇒利用者の負担軽減のため、加子母や付知については値上げ率について配慮させていただいている。運賃の値上げに伴い、収益も若干上がっているので、燃料費や整備費用、従業員の待遇改善、採用にかかる費用に活用させていただきながら、安全な運行ができるよう努めていく。
- ・ダイヤ改正については、労働条件の改善ということで、乗務員の休憩時間が伸びたこともあり、労働条件の改善をしていく必要もあるので、ご理解いただきたい。
 - ・前回の会議の際にもお話をいただいたが、バスでもタクシーでも乗務員不足が顕著になっている。バスの減便やタクシーの夜の稼働台数が少ないことも、やはり乗務員不足によるものである。都会ではカスハライメージがあり、どうしてもそのようなイメージがあるので、就職先に選んでもらえないのが実情だと思う。中津川市のお客様は良い人ばかりで、決して乗務員の待遇が悪くなっているということはないので、皆様にもお声かけしていただきたい。

■閉会